



個人投資家サーベイ

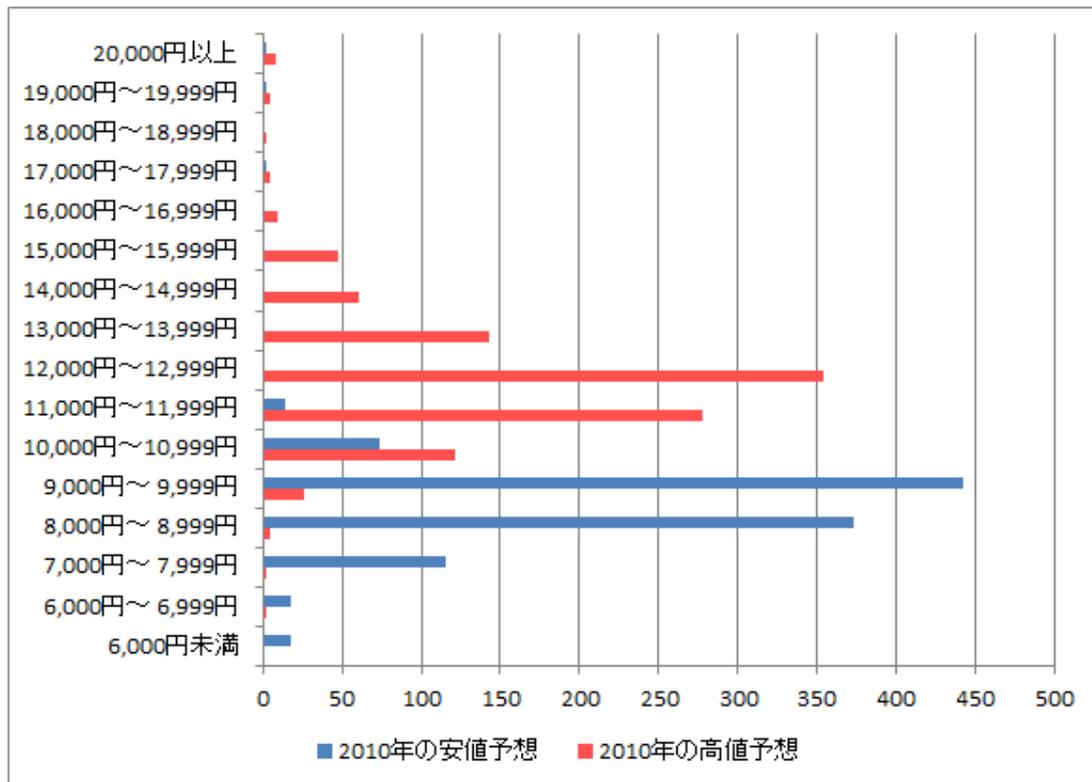
個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、2009年12月18日～12月21日にアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様には、ご協力に感謝いたします。誠にありがとうございます。今、個人投資家の皆様が、相場をどのようにとらえているのか、調査結果をまとめました。

「Monex 個人投資家サーベイ」は、個人投資家の相場環境に対する意識調査として毎月アンケートを行い、その調査結果をまとめたものです。2009年10月に第1回サーベイを行い、月次で公表しております。

■ 調査結果

1 株式市場を取り巻く環境について

(1) 2010年の日経平均株価予想 (日本、米国、中国の3ヶ月DI推移)

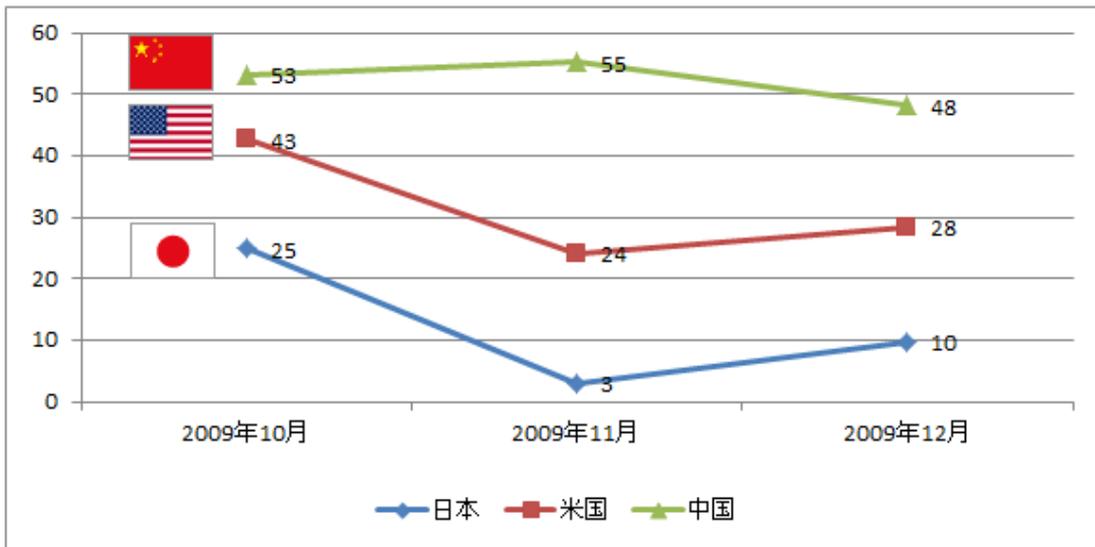


(マネックス証券作成)

2010年の日経平均について、一番多かった高値予想は12,000円台、一番多かった安値予想は9,000円台となりました。



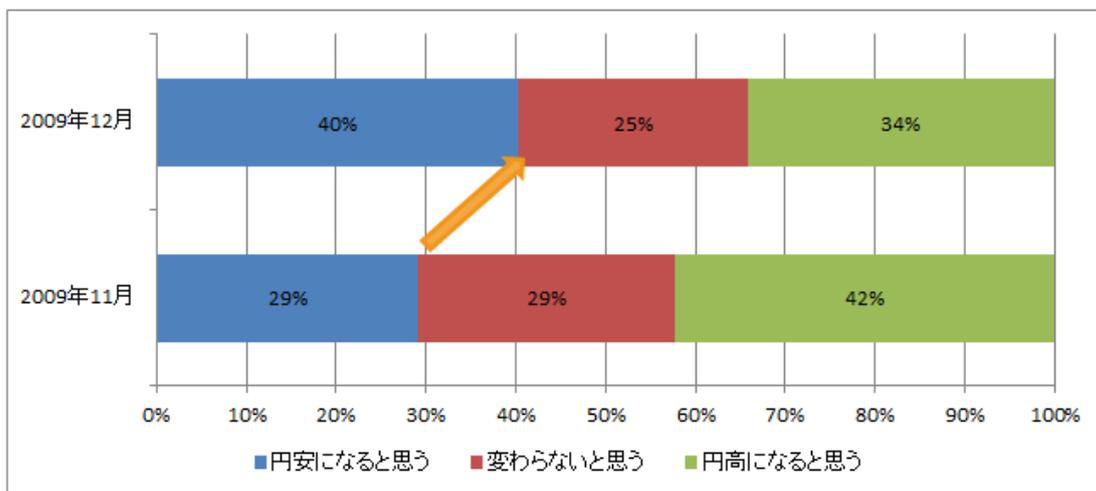
(2) 今後3ヶ月程度の株価予想（日本、米国、中国の3ヶ月DI推移）



（マネックス証券作成）

今後3ヶ月間の株価予想について、日本のDI（※）は多少改善されましたが、中国、米国と比べ、依然、低い水準です。（※DI：良いと回答した%から悪いと回答した%を引いたポイント）

(3) 今後3ヶ月程度のドル円相場については、「円安予想」の比率が若干高まる

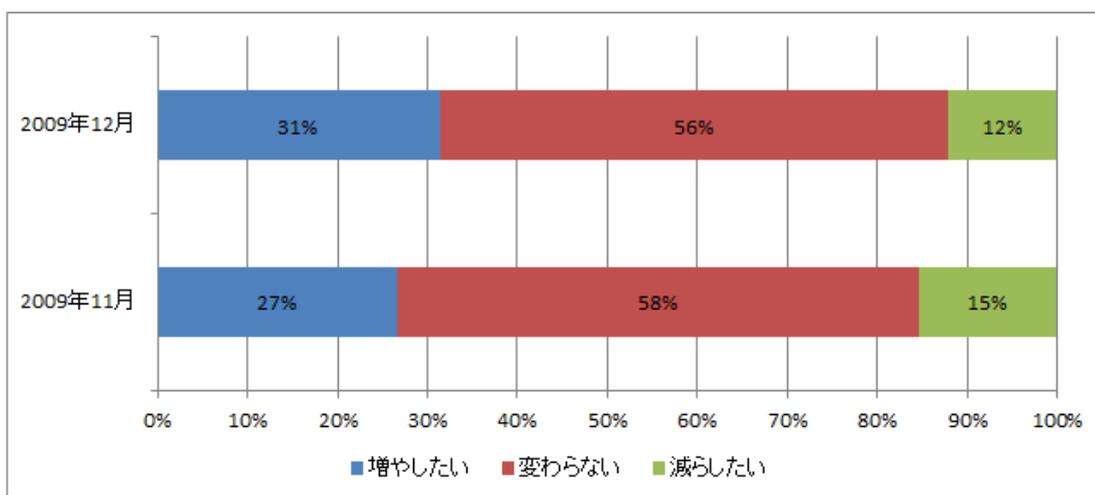


（マネックス証券作成）

2009年11月調査では「円安になる」と予想した人は29%でしたが、今回調査では「円安になる」と予想した人の比率が41%に増えました。



2 お客様の日本株取引について



(マネックス証券作成)

2009年11月調査と比べると、今回調査は株式の売買頻度を「増やしたい」と回答した人が増えました。



■ 総括

今回の個人投資家サーベイは、日経平均株価が11月27日の9,081円を底に急騰し10,000円台を固めていた時期が調査実施期間となったため、株式市場に弱気ムードが広がっていた時期の実施となった前回サーベイと比べて、個人投資家の皆様方の見通しや投資マインドに改善がみられます。

まず、今回は今年最後のサーベイということで、来年の日経平均株価の高値と安値を予想していただきました。その結果、一番多かった高値予想は12,000円台、一番多かった安値予想は9,000円台となりました。つまり、現在の相場水準（10,000円台前半）からはアップサイド・ポテンシャルの方が大きいと考えていらっしゃる方々が多いという結果です。この背景として、12月に入り株式市場が堅調に推移していることや、国内外の景気と企業業績の回復期待が高まってきたことがあげられると思います。

そして、今3ヶ月程度の株価予想については、強気な順に、中国、米国、日本という結果になりました。これは、10、11月のサーベイと同じ順番ですが、先行して上昇してきた中国株への強気度がやや下がる一方、米国株と日本株については若干ながら改善しています。株式市場が経済成長力を映す「鏡」と考えれば、中国、米国、日本という順番は妥当なところでしょうが、中国をはじめとする新興国の株価水準への警戒感から、米国や日本を含む先進国の株式市場を見直す動きになる可能性を示唆しているのかもしれませんが。

また、ドル円相場については、「円安になると思う」という回答が大幅に増え、「円高になると思う」が減りました。11月27日に1ドル=84円台まで上昇した円相場が急速に円安方向に戻ってきているためでしょう。米国の経済指標の改善を受けて米長期金利が上昇傾向にあり、日米金利差の拡大が続くという見通しも背景にあると思われます。

さらに、日本株取引を「増やしたい」という回答が増え、「減らしたい」が減っています。日本株に対するセンチメントは明らかに改善してきたと言えるでしょう。

以上を総括しまして、私から一言だけコメントさせていただきます。まず、来年の株式相場を強気にみていらっしゃる個人投資家の方々が多いことをとても心強く思います。私は、多くの強気の方々よりもさらに強気でございます、来年の日経平均株価の高値を15,000円程度とみております。リーマン・ショックを契機とした世界同時不況からの「リセット」がほぼ完了し、来年は、アジアの高成長が牽引する新たな世界に向けて「リスタート」する年になると思うからです。日本はアジアの一員であり、アジアの成長は日本にとって大きなチャンスです。明るい未来への確信が高まってくれば、今の相場の延長線上では考えにくい水準まで株価が上がることも十分にあり得るのではないのでしょうか。



今回も、皆様方のご協力によりまして、たいへん貴重なデータを作成することができました。心より御礼を申し上げます。このデータが個人投資家の皆様方ご自身の参考になりましたらとてもうれしく思います。

今年も大変お世話になり、ありがとうございました。良いお年をお迎えください。

(マネックス証券 チーフ・ストラテジスト 羽賀 誠)



■ 調査の概要と回答者の属性

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券に口座を保有している個人投資家
 回答数： 1,056件
 調査期間： 2009年12月18日～11月21日

【性別】

男性	女性
82.0%	18.0%

【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳超
0.4%	6.4%	31.3%	30.3%	14.3%	12.9%	4.4%

【金融資産】

500万未満	500万 ～1000万	1000万 ～2000万	2000万 ～5000万	5000万 ～1億	1億以上
36.6%	21.6%	18.7%	15.6%	5.4%	2.2%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
3.8%	12.2%	30.3%	30.0%	23.6%

【株式投資のご経験】

1年未満	2年～5年	5年～10年	10年以上
11.1%	35.0%	24.5%	29.5%

本情報は当社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・ 本情報は売買のタイミング等を反映したものではありません。
- ・ 当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・ 当社は本情報の内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・ 銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客さまご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号
 加入協会：日本証券業協会、（社）金融先物取引業協会